

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
2 -	障がい者福祉を推進する	総務部、福祉部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	改訂計画 策定時	実績値				5年度 目標値
			2年度	3年度	4年度	5年度	
在宅福祉サービス 利用者数(年間)	人	2,937	2,656				3,250
ひらつか就労援助 センターの支援を 受けながら就労し ている人数(年間)	人	426	513				575
関連事業							
障がい者在宅福祉サービス事業 障がい者権利擁護推進事業 社会参加・交流促進事業 障がい者就労促進事業 就労移行・就労継続支援事業 障がい者ワークステーション事業							
決算額							
		2年度	3年度	4年度	5年度		
事業費(千円)		4,117,108					
執行率(%)		96.36					
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
<p>「障がい者の地域生活支援の充実とそれを支える人材の育成」</p> <p>庁内における合理的配慮が適切に行われるよう、職員研修を行うとともに、「合理的配慮」の好事例をまとめたリーフレットを作成し市のホームページで紹介するなどして、障がいに対する理解促進を図りました。また、在宅障がい(児)者に対して、介護給付費等の支給や地域生活支援事業を実施することにより、日常生活の支援を行いました。</p> <p>「障がい者の相談支援体制と権利擁護の機能の充実」</p> <p>高齢者・障がい者虐待防止等ネットワーク協議会を书面開催するとともに、関係機関に虐待等に関する資料提供を行い、連携と対応力強化に努めました。</p> <p>「心のバリアフリーの推進」</p> <p>障がい者理解を深めるため、パネル展を市役所多目的スペースで3回実施しました。また、「心のバリアフリー」ハンドブックを市内各公共施設に配架するとともに、各種イ</p>							

メントでも配布しました。

「障がい者の就労支援と定着の促進」

障がい者の就労や生活面での相談等を行う「ひらつか就労援助センター」への助成や、障がい者への就労支援サービスに関する訓練等給付費の支給により、就労や職場定着を支援するとともに、就労に必要な訓練等の機会を提供しました。

「夢のタネの促進と小中学校への展開」

スタッフが庁内や市内小中学校で障がい特性に見合った仕事に従事することや民間会社での実務研修を受講することで、就労や就労に必要な訓練等の機会を提供しました。

施策を推進する上での「課題」

「障がい者の地域生活支援の充実とそれを支える人材の育成」

障がい福祉サービスなどが円滑に実施されるよう、昨今の課題に対応した研修を実施する必要があります。

「障がい者の相談支援体制と権利擁護の機能の充実」

権利擁護の普及啓発促進のため、関係機関等との連携や取組の継続が必要です。

「心のバリアフリーの推進」

様々な機会を活用し、思いやりの心の醸成に取り組む必要があります。

「障がい者の就労支援と定着の促進」

ひらつか就労援助センターの充実を図る必要があります。またコロナ危機における中小企業と福祉事業所のマッチング機会を検討する必要があります。

課題解決を図るための「取組方針」

「障がい者の地域生活支援の充実とそれを支える人材の育成」

障がい福祉事業所の管理者や職員等を対象とした研修テーマに関するニーズ調査を行います。

「障がい者の相談支援体制と権利擁護の機能の充実」

高齢者・障がい者虐待防止等ネットワーク協議会を通じて関係機関等との連携を進めるとともに、研修等で関係者の支援力強化を図ります。

「心のバリアフリーの推進」

関係団体と情報交換を進めながら、パネル展の開催やハンドブックの活用を継続していきます。

「障がい者の就労支援と定着の促進」

ひらつか就労援助センターへの助成を継続するとともに、ハローワーク平塚等の関係機関との連携強化を図ります。また、中小企業と福祉事業所がマッチングを促進するため IT の活用を検討します。

「夢のタネの促進と小中学校への展開」
スタッフの能力向上や一般就労へのステップアップを支援する体制を整え、一般就労につなげる必要があります。

「夢のタネの促進と小中学校への展開」
庁内や市内小中学校の軽易な事務作業を行い、スタッフの仕事のスキルや社会性、ビジネスマナーなどの向上を図ることで、就労につなげます。